

木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業 概要説明（北海道平取町）

1. 事業概要

事業名	バイオマス産業の活性化に資する小型木質コジェネ等の導入計画策定事業
検討対象設備等	木質チップもしくは木質ペレットを燃料とする小型木質バイオマス・コジェネ設備と温水ボイラー (本町地区公共施設6カ所)
平成30年度 補助金交付予定額	14,283,000円
事業内容	町内の木質バイオマス資源を持続的に活用するため、人工林を対象に森林資源の搬出コストを考慮した賦存量調査を行なうとともに、適切な人工林の管理により生物多様性の保全にも資する小型木質バイオマス・コジェネ等の導入計画を策定する。

2. 設備導入予定等

設備導入時期	導入時期：平成33年3月（平取町国民健康保険病院） スケジュール：平成32年5月着工、平成33年1月完工
CO2削減効果	763.7（t-CO2/年）
生物多様性保全効果	「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定された沙流川流域は、本町を北東から南西に流れ水系の骨格を形成している。沙流川流域は、アイヌ文化の伝承・振興を図る上でも重要な地域であり、本事業の具体化による間伐と間伐材の搬出により、下草の繁茂による表土保全に加え、未利用材の搬出による土石流防止や、山の栄養源の沙流川への供給促進により魚類を含めた水中生物への好影響が期待される。更には、小規模な皆伐により、猛禽類の餌場の確保など希少野生動物の保護も期待される。